

特定事業の選定、事業者選定から見る病院PFIにおけるVFM

	特定事業選定時の価値評価			事業者選定・審査時の価値評価																
	事業内容	コストの定量的評価	リスク評価・定性的評価																	
高知医療センター整備運営事業	病院本館施設、職員宿舎等その他施設整備業務 病院本館施設維持管理(ファシリティ・マネジメント)業務 医療関連サービス業務(医療法に基づく政令8条業務) その他医療関連サービス業務 その他の業務(一般サービス施設等の運営管理、職員宿舎等その他施設維持管理、その他)	PSCとPFI/CCLに関し、収益的支出(3条費用)と資本的支出(4条費用)の下記項目について「総額」及び「現在価値額」で定量比較。リスク含まず。 削減率:総額で6.7%、現在価値VFM:5%(割引率4%) ・収益的支出:材料費(薬品・診療材料等)、経費他、支払利息等、PFIの調整額 ・資本的支出:病院本館施設、医療機器等、その他施設整備、建設中支払利息	病院施設整備、医療関連サービス等について、「長期・包括・一体的」に民間事業者が実施することにより、「中・長期の展望」に立った民間事業者との共同運営が可能となり、「適切なリスク管理」のみならず、各種業務に対する「専門性の発揮、業務の効率化と業務内容の向上」などの効果を期待。	定量的評価と定性的評価の両面について効果が期待 評価値 = 定性評価(満点120点)+価格点(満点180点) ・定量的評価:総額で7.14%、現在価値額で4.15%の削減 ・定性的評価:公共と民間の新たなパートナーシップのもとに適切なリスク管理、各種業務に対する専門性の発揮、業務の効率化と業務内容の向上などの効果が見込まれ、自治体病院としての使命を發揮していく上で、「医療の質の向上」、「患者さんサービスの向上」及び「病院経営の効率化」が図られる。																
近江八幡市民病院整備運営事業	病院本体施設整備業務 同維持管理業務 現病院の解体、所有権移転業務	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率4%(インフレ率1%見込む) ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減率:約5~8%	効率的な維持管理・運営の実施 財政支出の平準化 リスク分担の明確化による安定した事業運営 市民サービスの向上	定量的評価において市の財政負担額が約5~8%、さらにリスク調整の3%を加え、全体で約8~11%の削減率が達成され、定量化できない多くの定性的効果も期待できる。 総合評価値 = 事業評価7項目(500点)+価格点(500点) ・財政削減 現在価値額で14.4%の削減 ・選定評価の基礎となる重要事項は、以下の4点。 医療関連サービス業務を担当する事業者と病院との適切な関わり方。事業者はどのように各業務受託企業をマネジメントするか(運営業務に関するマネジメントへの期待)。医療の質的向上に事業者はどのように貢献しうるか。上記3点について30年間有効に機能する仕組みをいかにして事業者の中にビルトインするか。																
八尾市立病院維持管理・運営事業	選定事業者が病院の一部設備、什器、備品等を調達、保有し、契約期間内における施設の維持管理及び医療関連サービス等の運営業務を行う。 ・運営業務を下記三類型業務に分類。 A:対価として一定額を支払う業務 B:需要と連動し支払う業務 C:協議のうえ支払う業務(特に調達コスト業務)	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率2.58%、インフレ率考慮せず ・リスク含まず ・現在価値VFM:約6.3% このほかに定量化は困難であるが、民間事業者に移転したリスクがあることを勘案すると、さらなるVFMの拡大が見込まれることになる。	院運営の非効率性の改善効果 業務の効率化とサービス水準の向上 明確な役割分担による業務効率化とサービス水準の向上 外部委託契約の包括発注による事務手続の効率化 リスクの効率的な管理・対応	定量的評価及び定性的評価において効果が發揮されるものと期待 総合評価値 = 得点(基礎点+加点)÷提案価格 ・コスト削減 VFM(現在価値):7.2%、下記C業務を加え12.7% ・選定者への講評 SPCの統括責任者が提案上はつきりしていない、明確化必要。 SPC常駐の人員が妥当かどうかを協議するとともに、病院側の受入体制をしっかりと必要あり。薬剤・診療材料の共同購入はコスト削減に重要でその具体化が必要。資金計画は、今後の交渉も踏まえ、最終的に確定した業務内容に基づき、改定、明確化が必要。地元の雇用・調達を重視するとの提案の具体的実現。加算審査において加点の大きい提案項目は、契約にも反映させ、その実効性を担保。																
島根県立こころの医療センター(仮称)整備・運営事業	計画施設の整備業務 計画施設への移転関連業務 計画施設の維持管理等業務及び既存職員宿舎の保守管理業務 大規模修繕業務 (患者利便施設運営)	・算定項目についてほぼ定性的に言及。 ・割引率4%、インフレ率0.63% ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減:9%	将来を見据えた病院づくり ・患者の人權・プライバシーに最大限配慮し、患者、その家族及び病院関係者に対する快適な環境形成 患者サービスの向上 ・民間事業者の創意工夫や柔軟性を十分活かすことによる質の高い療養環境の確保 ・病院運営のパートナーとして長期的かつ包括的に民間事業者に維持管理等の業務を委ねることによる安定したサービスの継続的提供	定量的評価において県の財政負担見込額が、約9%削減される見込みであり、また、定性的効果も見込まれる。 評価値 = 一次審査点(50点)+二次提案評価点(450点)+価格点(現在価値後500点満点) ・県の現在価値財政負担削減額は約11% 講評 ・応募1グループのため、提案審査点が落札者決定基準書に定める最低基準(6割)を上回るかで判断。提案審査点は7割を超えたが、入札参加者と県との間で今後十分な調整を行い、計画内容を部分的に再度検討し、充実した内容に成長させる旨の意思表明を汲み入れて行った採点である。公共サービスの向上へ、双方の間で真摯な協議が行われることを強く望む。																
多摩広域基幹病院(仮称)及び小児総合医療センター(仮称)整備等事業	病院経営支援業務 診療技術支援業務 物品管理業務 調達関連業務 情報管理関連業務 病院施設等の建設業務 病院施設等維持管理業務 その他業務(利便施設運営業務(売店・レストラン・理髪店等))	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率2%、物価変動見込まず ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減:2.3%程度	都と民間の明確な役割分担によるサービス水準の向上 長期包括契約による診療周辺業務の効率化とサービス水準の向上 設計、施工及び運営を一体的に性能発注することによる施設整備及び運営の効率化 都と民間の協働による事業運営の効率化及びサービス水準の向上 リスク:民間事業者にリスクの一部を移転することにより、将来発生する可能性のある都の財政負担額を削減することが期待できる	・VFM(Value For Money)の検討による総合評価 定量的評価、定性的評価及びリスク評価による総合評価として、本事業をPFI事業として実施することで民間事業者の事業運営にかかる効率的、効果的なノウハウの活用が可能となり、財政負担額の削減効果、医療サービス水準の向上が期待できる。 総合評価値 = 性能評価点(250点)+価格点(90点満点) ・特に、性能評価点でSP(サービスプロバイダー)機能に50点を付与 ・コスト削減率(現在価値):6.7% 選定結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Xグループ</th> <th>Yグループ</th> <th>Zグループ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性能評価点</td> <td>23</td> <td>208</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>価格点</td> <td>90.00</td> <td>36.95</td> <td>65.45</td> </tr> <tr> <td>総合評価点</td> <td>113.00</td> <td>244.95</td> <td>150.45</td> </tr> </tbody> </table> 落札者		Xグループ	Yグループ	Zグループ	性能評価点	23	208	85	価格点	90.00	36.95	65.45	総合評価点	113.00	244.95	150.45
	Xグループ	Yグループ	Zグループ																	
性能評価点	23	208	85																	
価格点	90.00	36.95	65.45																	
総合評価点	113.00	244.95	150.45																	
がん・感染症医療センター(仮称)整備運営事業	(1)統括マネジメント業務 (2)個別業務の統括マネジメント業務 経営支援業務 (2)個別業務 病院施設等施設整備業務 病院施設等維持管理業務 病院運営業務 調達業務(医薬品、診療材料、医療機器、その他備品)	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率3.55%、物価変動見込まず ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減:4.9%程度	同上	同上 総合評価値 = 基礎点(100) + 性能評価点(650) + 価格点(250点) ・特に、性能評価点でSP(サービスプロバイダー)機能に50点を付与 ・コスト削減率(現在価値):4.3% 講評 ・980点(100+530+250)/1100点 全面改修事業のため都想定施設設計案を作成・公表し改善提案の機会を設けた。その結果、工事期間中の安全性を踏まえつつ併せて機能性の高い有効な提案であり、高く評価した。提案内容にはまだ病院現場との調整が必要な点も見受けられる。駒込病院が総合診療基盤に支えられたより専門性の高い「がん・感染症医療センター」としてその機能を十分に果たしていくために都及び病院と真摯な協議を進めることを要望する。																

特定事業の選定、事業者選定から見る病院PFIにおけるVFM

	特定事業選定時の価値評価			事業者選定・審査時の価値評価	
	事業内容	コストの定量的評価	リスク評価・定性的評価		
神戸市立中央市民病院整備運営事業	統括マネジメント業務 施設設計・建設業務 施設維持管理業務 医療情報システム構築・運営業務 流管理運営業務 顧客サービス業務 医療関連サービス業務 移行支援業務	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率3%、物価変動見込まず ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減：8%程度	リスク評価・定性的評価 設計、建設及び運営の一体化による施設整備及び運営の効率化 市と民間の適切な役割分担によるサービス水準の向上 医療関連の各種運営業務の長期包括契約による業務の効率化と質の向上 リスク分担の明確化による安定した事業運営成長と変化に対応した質の高い病院運営の継続	総合評価 事業全体を通じて民間事業者の効率的、効果的なノウハウの活用が可能となり、財政負担額の縮減、サービス水準の向上が期待できる。	総合評価値 = 事業評価点(600点) + 価格点(400点) 現在、入札説明書等公表段階
大阪府精神医療センター再編整備事業	(1)施設整備関連業務 施設整備業務(既存施設の改修及び仮設施設の建設・撤去を含む) 備品調達業務(医療機器等除く) 移転引越業務 (2)維持管理・医療関連サービス等業務 維持管理業務 医療関連サービス業務 その他業務(利便サービス提供等)	・算定項目について定性的に言及。 ・割引率2%、インフレ率0% ・リスク含まず ・現在価値財政負担削減：10%程度	施設整備から維持管理・医療関連サービス業務までの一括発注・性能発注により、PFI事業者の経営能力、技術能力が発揮され、本事業が効率的かつ効果的に実施されることが期待できる。 病院機構とPFI事業者とが適切にリスクを分担することにより、本事業に係るリスクへの対応力を高めることができる。	定量的評価及び定性的評価において効果が発揮されるものと期待	現在、事業の選定等の公表段階
精神医療センター(仮称)整備運営事業(東京都)	施設改修：病院施設改修のための設計・工事等 運営業務：病院施設・設備等の維持管理業務、医事事務等の医療周辺業務、医薬品等の調達業務	・財政負担額を4.6%程度縮減	都と民間の明確な役割分担による医療サービス水準の向上 長期包括契約による医療周辺業務の効率化とサービス水準の向上 設計、施工及び運営を一体的に発注することによる施設整備及び運営の効率化 都と民間の協働による事業運営の効率化及びサービス水準の向上 リスク評価：民間事業者にリスクの一部を移転することにより、将来発生する可能性のある都の財政負担額を縮減することが期待できる。	定量的評価、定性的評価及びリスク評価による総合的評価として、本事業をPFI事業として実施することにより事業全体を通じて民間事業者の効率的、効果的なノウハウの活用が可能となり、財政負担額の縮減、サービス水準の向上が期待できる。	現在、事業の選定等の公表段階
愛媛県立中央病院整備運営事業					現在、事業の選定未公表
筑波大学付属病院再開発に係る施設整備等事業					現在、実施方針公表段階

備考：記載内容に関しては一覧表作成上原文のままではなく、適宜省略しております。